



令和7年度
ともに輝く

ひがしっこ

2 月 号
令和8年1月26日(月)

「2026年きっとうまくいく」

1号館の入り口に掲示委員会が作成した掲示物があります。言葉には、言霊があるといわれるように口に出すとその力を発揮できるものです。大谷翔平選手も目標を書いてその目標を達成するために努力し夢をかなえています。

毎日この言葉を見ながら、「きっとうまくいく」と信じながら過ごしています。このように言葉の持つ力を信じて、「学び合い、高め合い、たくましく健やかに生きる」ためにともに頑張っていきましょう。



最近「思いやり算」という言葉を知りました。算数の計算というと、「たし算・ひき算・かけ算・わり算」ですが、これに思いやりがどう関係あるのかと思いながら読んでみると、たし算は「たすけあう」、ひき算は「ひきうける」、かけ算は「声をかける」、わり算は、「わけあう」と少し意識をすることで、相手を思いやり「ともに輝く」ことができます。少しでも意識して相手に対する思いやりをもつことでより豊かに生活ができるのではないのでしょうか。今会議室には、人権の広場の取組みが掲示されています。12月から取り組んできた各学年の人権学習の成果物です。この展示を全校児童が見学して、考えることでさらに学習を深めていきます。

1月はゲストティーチャーがたくさん来られました。5, 6年生には、命について考える授業として狩猟をお仕事にされている小笠原先生といっしょに岩崎先生と国語の授業を行いました。また、5年生には「SOS の出し方教育」ということで、大阪教育大学の水野先生、四辻先生に授業をしていただきました。悩みがあるとき、まず相談してみよううまくいかなければ、相手を変えても大丈夫だからとお話いただきました。1・2年生は昔遊びを地域の更生保護女性会の方に教わり、3年生は、昔の暮らしについて、藤井寺市文化財保護課の方から授業をしていただきました。このような体験授業を通して、子どもたちの学びが深まっていくことに喜びを感じています。地域の皆様をはじめ関係の皆様にご感謝申し上げます。